



現場だより	1-2
特集1「インターンシップ」	3
特集2「安全祈願祭」	4
受賞Report!	5
PLUS NEWS!	6

10月29日(木)に執り行った道東自動車道 新得清水地区附帯工工事の安全祈願祭において、施工担当職員との記念撮影(撮影:総務課 石澤美翔)

現場だより

十勝川改修工事の内

明野樋門上流河道掘削外工事

工事名 : 十勝川改修工事の内

明野樋門上流河道掘削外工事

施工場所 : 幕別町

施工期間 : 令和2年4月1日(水)～令和3年3月8日(月)

発注者 : 国土交通省北海道開発局 帯広開発建設部

請負者 : 西江建設株式会社

請負金額 : 400,345,000円 (税込)

進捗率 : 62% (11月末時点)

現場職員 : 渡部 勝幸、西川和仁、中島 陽、佐藤如枝



西江建設が手掛ける工事現場を徹底解剖！
現場代理人からリアルな現場の声をお届けします。

工事概要

十勝川を渡る国道242号千代田大橋の下流において、十勝川の流下能力の向上を図るため、河道の高水敷をバックホウで掘削し、その土を河口付近の置土場や土壌改良土として農地にダンプトラックで運搬する工事です。さらに、洪水時に堤防越水が発生した場合の被害軽減策として、河口近くの旅来築堤の天端（河川管理用道路）に幅5.5m、延長2.7kmにわたってアスファルト舗装を施工し、堤防を保護します。

掘削・運搬する土量は合計約59,000m³で、現在までに河口付近への運搬・盛土とアスファルト舗装は完了しています。農地への分は冬の時期の運搬になるので、特に交通安全に十分注意して施工する必要があります。

防災、減災そして国土強靱化という国の施策のもと、流域住民の生命・財産・生活を守る治水事業の一翼を担っていることを誇りに、工事の安全に留意しながら日々仕事を進めています。

現場代理人

渡部 勝幸

WATABE KATSUYUKI



難しく感じること

実は、開発局発注の工事を担当するのは久しぶりだったので、発注者ごとの提出書類の違いに苦労しました。わからないことは自分で調べたり、周りの方々に聞きながらひとつひとつ解決しています。何事も経験！

あとは、周囲との円滑な人間関係を築くのも容易なことではないですね。相手への気遣いを忘れないこと、他愛ない会話でコミュニケーションを図ることを心掛けています。人間関係の構築には、努力が欠かせません！（でも、ときには諦めも肝心(笑)）

他の職員と仕事をやるとき心掛けしていること

相手に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることです。些細なことであっても、それを当たり前と思わず、「ありがとう」と言うことを心掛けています。親しき中にも礼儀あり！これも相手への気遣いです。

今回の現場をもっとも達成感を感じるころ

今回の現場だけではありませんが、兎にも角にも無事故で終了することです。最後まで無事に工事を終わられたとき、心から“お疲れさん！”と言えます。

周りの方々を見ている感じ

熟練者の持っている知識やこれまでに積んできた豊富な経験は、ものすごく参考になりますね。私もいつも助けられています。そういった知識や経験に触れるたびに、西江建設の作業員は優秀だと改めて感じます。

危険作業への対策

少しでもその作業が危ないなと思うときは、必ず傍にいて確認することを徹底しています。こまめに声掛けを行ったり周囲の状況を把握することで、日々安全に工事を進めています。

ここだけの話

“辛い、きつい、めんどくさい”の気分を、“よし！やるか！”に変換させるのっていつになっても難しい。いい方法があったら教えて～！

ちよつとこぼれ話

休日の過ごし方

早寝早起き。ほぼ毎週末の釣り。車いじり。



現場を見つめる渡部工事長



アスファルト安定処理（敷均し）



アスファルト安定処理（敷均し）



掘削積込状況



空撮（11月末撮影）

特集

インターンシップ

9月2日～9月4日の3日間、帯広工業高等学校 環境土木課2年生の2人が当社のインターンシップに参加してくれました。1日目は現場事務所においてレーザースキャナーを使った3次元測量体験、2日目は実際の現場で測量実習、3日目は管内の4つの現場見学を行いました。

あいにくの天気でしたが、職員の話をも熱心に聞きながら一生懸命に取り組んでくれました。



(左、中央)環境土木課の生徒 (右)先生



現場での
測量実習、
丁張設置



施工現場見学



3Dレーザースキャナーを使った測量体験



ICT建機の
体験



ウェアラブルカメラを装着する生徒



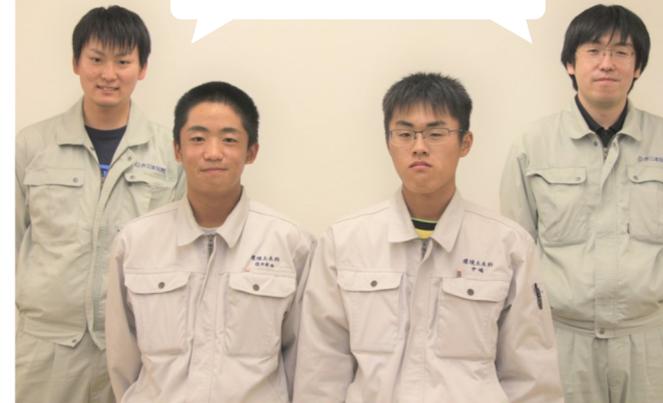
ウェアラブルカメラの映像を視聴する生徒



現場で事故が起きないように配慮し、安全管理に重点が置かれていることを知りました！(N君)

土木は人のためになる仕事で、とてもやりがいのある魅力的な仕事だと感じました！(S君)

参加してくれてありがとう！



特集

安全祈願祭

10月29日（木）、新得町において、今年度より施工する道東自動車道 新得清水地区附帯工工事の安全祈願祭を執り行いました。当日は、式典の途中であられが降るハプニングもありましたが、すぐに上がり、最後にはうっすらと陽が差す様子も見られ、幸先の良いスタートを切れました。

発注者である東日本高速道路株式会社 北海道支社・帯広管理事務所の皆様、帯広開発建設部の皆様、十勝総合振興局の皆様、関係4町村の皆様、十勝機動警察隊の皆様、各協力会社の皆様、総勢33名にご臨席賜りました。新得神社 飯田宮司のご祈禱により、道東自動車道4車線化工事の安全と、それに伴う十勝・道東地域の益々の発展を祈願しました。

降神の儀



地鎮の儀-鋤入れの儀



地鎮の儀-鍬入れの儀



施工者謝辞



ついに道東自動車道4車線化の工事が始まります。その名誉ある第1弾の工事を当社が施工できることに会社を挙げて感激しております。この工事が、間違いなく十勝という地域、そして道東全域にわたって地域の活性化につながっていくことを確信しております。

これからは完成に向けて、とにかく事故のないよう最後まで安全第一で、そしてなおかつ良いものを提供できるよう社員全員で頑張っていきたいと思っております。
(社長謝辞より)

今年度より施工する道東自動車道 新得清水地区附帯工工事の安全祈願祭を執り行いました。当日の様子をご紹介します。



玉串奉奠

帯広開発建設部 竹内正信部長



十勝総合振興局 関俊一副局長



新得町 浜田正利町長



東日本高速道路(株)帯広管理事務所 生方也寸志所長

式典の運営に携わった職員で記念撮影



西江建設が頂いた感謝状、表彰についてご紹介します。

北海道開発局

優良工事表彰 (局長表彰)

令和2年9月11日、札幌第1合同庁舎において令和2年度北海道開発局優良工事等表彰式が執り行われました。

当社は、令和元年度に施工した石狩川改修工事の内 晩翠遊水地晩翠樋門周囲堤盛土外工事(西江・植村JV)において、特に優秀で、かつ他の模範となるとの評価を頂き、令和2年度北海道開発局優良工事表彰(局長表彰)を受けました。合わせて、監理技術者 青木功工事長が担当技術者表彰を受けました。

青木功工事長は「平成27年度より5年間、「千歳川遊水地事業」という洪水被害から人命と財産を守り、安全・安心を確保する事業に携わって参りました。事業完成年度に、このような荣誉ある賞を受賞できたことを心より嬉しく感じると共に、関係者等に深く感謝しております。これからも自分のやれることを継続し、後継者育成にも努めて参ります。」と話します。



工事課 工事長 青木功

石狩川改修工事の内 晩翠遊水地
晩翠樋門周囲堤盛土外工事
<監理技術者 青木功>



北海道農政部

優秀業者表彰 (知事表彰)

令和2年11月13日、ホテルポールスター札幌において令和2年度農業農村整備事業優秀業者感謝状贈呈式が執り行われました。

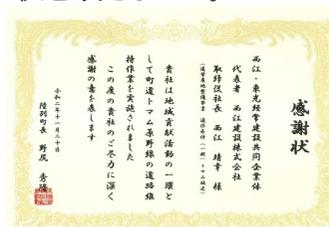
北海道が発注し、令和元年度に完成した農業農村整備事業の工事において、優秀な技術と豊かな経験により優れた成果を挙げ北海道の農業の振興に寄与したとして、北海道農政部 小田原輝和部長より知事感謝状を頂きました。



感謝状

道営農地整備事業 通作条件(一般)
トマム外1地区71工区 (西江・東光JV)
<現場代理人 山内政人>

令和2年4月より施工している道営農地整備事業 通作条件(一般)トマム外1地区71工区では、社会貢献活動として町道トマム原野線の側溝清掃作業を実施しました。この活動に対し、11月20日に陸別町 野尻秀隆町長より感謝状を頂きました。



BCP訓練を行いました

10月30日に、コロナ禍での台風災害を想定したBCP訓練を行いました。訓練ではまず、リモート会議システム“Zoom”を活用して帯広本社と札幌支店の役員10名による災害対策本部を設置し、全社への指示手順と行政機関との連携手順を確認しました。

それを受けて、業務班による工事現場の被害状況把握手順、対外復旧支援班による人員・資機材の確保と災害出動手順を確認し、また、総務班による社員の安否確認ではコミュニケーションアプリ“LINE”を活用し、管外JVへの出向職員を含む全社員が参加しました。

(左)プロジェクターで一般職員も訓練を視聴し、各自の役割を確認した



(右)Zoomを用いた災害対策本部会議の様子

災害対策本部会議のほか、事務職員3名による自動切替始動式発電機の手動での起動操作確認、災害用トイレの組立てを体験しました。停電時に地域住民への携帯電話の充電設備を提供する際の周知手順などの説明を受け、緊急時の対応を共有しました。

(左)自動切替始動式発電機の手動での起動操作方法について説明



(右)LINEを活用した安否確認

コロナ対策に取り組んでいます

当社では、新型コロナウイルス感染症予防および拡散防止のため全社を挙げて様々な対策に取り組んでいます。今後も、来社される皆様と当社職員の安全確保のため、徹底した対策を続けてまいります。皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

■ 西江建設の取り組み ■

- ・ 出社・来社時に体温測定、手指消毒を行っています
- ・ 来訪者の記録をしています
- ・ 職員はマスク、マウスシールド等を着用しています
- ・ アルコール消毒液を設置 (本社12箇所) しています
- ・ 共用場所、備品の消毒を徹底しています
- ・ パーティションを設置 (本社31箇所) しています
- ・ 換気促進のためサーキュレーターを稼働しています
- ・ 会議のリモート化・短縮化を図っています
- ・ 3密に配慮した打ち合わせを行っています



本社
消毒液噴霧・体温測定機能付きデジタルサイネージを設置しています



札幌支店
各種消毒液、非接触型体温計を常備しています



現場
コロナ対策喚起の掲示物



自作のパーティションを設置



コロナ対策喚起ののぼり旗

スケジュール

令和2年12月-令和3年2月



- 12/28(月)… 仕事納め
- 12/29(火) - 1/04(月)… 年末年始休暇
- 1/5(火)… 仕事始め
- 1/11(月)… 成人の日のため休業
- 2/11(木)… 建国記念日のため休業
- 2/23(火)… 天皇誕生日のため休業

次回“冬号”は、
2月28日
発行予定!

昭和63年に入社以来、32年間の永きにわたり当社の発展に尽力された小室 重人調査役が10月末を以って退職されました。長い間、本当にお疲れ様でした!

